



高時小だより

<教育理念>

— 高く・強く・美しく —

長浜市立高時小学校

【令和5年6月1日発行NO. 3】

HP : <http://takatoki-es.nagahama.ed.jp/wordpress/>

「むごい教育」とは

校長 宮野 武史

「むごい教育」という言葉を聞かれたことがあるでしょうか。初めて聞かれた方は、どのような教育と想像されるでしょうか。

戦国時代、駿河国を治めていた今川義元は、当時の習わしに従い、竹千代（徳川家康の幼名）を人質にとりました。そのとき、義元は家来に「竹千代に『むごい教育』をせよ。」と命じました。家来たちは「『むごい教育』だから、厳しく鍛えあげろということだろう。」と解釈して、早朝から竹千代を武芸に励ませるなど、一日が終わった夕方には厠（かわや：お手洗いのこと）で腰を下ろせなくなるほど厳しくしたのです。数日して、義元は、竹千代の養育係を呼んで尋ねました。「『むごい教育』をしているか。」すると、養育係は「はい、『むごい教育』をしています。朝起きるときからすべて駆け足で行動させ、三食は粗食を与え、休憩も最小限にして、水練・剣術・槍術・馬術・学問に励ませ、修行僧のように鍛錬しています。一度ゆっくり見てください。」と得々と報告しました。これを聞いていた義元は、語気を荒げて「それは『むごい教育』ではない。」と怒りました。義元のことを聞いて、並み居る家来たちは、怪訝そうな顔で義元の次の言葉を待ちました。義元は、家来たちの様子を見て「お前たちには、余の意図がわからんのか。お前たちがやっていることは『むごい教育』ではない。今日から次のような『むごい教育』を実行せよ。一つ、朝は、好きなだけ長寝をさせよ。一つ、毎食、贅沢な食事をたらふく与えよ。一つ、武術や学問は、無理強いをするな。一つ、本人の望むものは何でも与えてやれ。そうすれば大概の人間は駄目になる。」と諭しました。今川義元は、後に成人した竹千代（徳川家康）が、自分に敵対できないように、今のうちに、意思も筋金もない「骨抜き・腑抜け」にしておくことを願ったのです。このような「むごい教育」を受けたら、人は、自分で考えることも、相手のことを思いやることも、物事にじっくり取り組むこともできなくなってしまうでしょうね。



この今川義元が命じたという「むごい教育」の逸話は、小さいお子さんを育てる時の教訓として、今でも小学校などで広く語り継がれています。私たちの子育ての願いは、よりよい「ひとり立ち」にあります。そのためには何をしなければいけないでしょうか。今川義元の逸話から、学ぶべきことがあるように思います。現在、日本は物や食べ物があふれ、大抵の物を簡単に手に入れられるようになりました。子ども達も、あれが欲しい、これが欲しいと誘惑の渦の中にいます。子どもの喜ぶ顔を見たいとは親であれば誰もが思うのですが、時には厳しく、時には丁寧に導いていくことが、私たち大人に求められていると思います。社会生活のルールの大切さを教え、感謝する心や我慢する心を養い、そして、直面した物事に、自分で正しく判断し行動に移せる人に育てていくことが大切ではないでしょうか。

十人十色と言います。子ども一人ひとりに対する理解を深めていきたいものです。

6月



3日（土）愛校作業予備日

5日（月）4年水道企業団見学

5, 6年茶道体験

クラブ活動

7日（水）避難訓練（不審者対応）

クリーン活動

9日（金）授業参観・演劇ワークショップ

11日（日）新緑茶会（5, 6年生要請）

14日（水）水泳（プール開き）

22日（月）3年立売堀製作所見学

26日（木）委員会活動

※諸般の事情により、変更になることがあります。

<交通安全教室>



5月10日（水）、木之本警察署、高時警察官駐在所からお二人の方に来ていただき、交通安全教室を実施しました。体育館の中に交差点を作って信号機を設置し、登校班ごとに交差点を渡る練習をしました。その後、オンラインゲームや YouTube で依存症になる恐ろしさの話もしていただきました。自分をしっかりコントロールできるよう、ご家庭でも、使用の約束をしっかりと守れているか、確認をお願いします。

<読み聞かせ再開>

コロナ禍の時には、給食時に読み聞かせ放送を行っていましたが、今年度から、読み聞かせボランティアの方に、直接教室で子どもたちの前で本を読んでいただきます。毎月第2水曜日の昼休みの後に時間を設定し、実施していただきます。低学年・中学年・高学年の3グループに分かれ、それぞれの発達段階に応じた本を読んでいただけるようになりました。5人のボランティアの皆様、今年もよろしくお願いします。



<3・4年 福祉体験>

本校では、3, 4年生の総合的な学習の時間で、長浜社会福祉協議会の方を講師に迎え、福祉に関する学習を進めています。

【手話体験】

4月25日（火）、手話と指文字について丁寧に教えていただきました。その甲斐あって、全員、自分の名前を紹介できるようになりました。その後、「わた SHIGA 滋賀輝く国 スポ障スポ」のイメージソング「シャイン」を手話を交えて歌いました。



【車いす体験】

5月9日（火）、車いす体験をしました。最初教室で、「ふくし」とは、「だんの」「らしの」「あわせ」と教えていただき、自分にとって別世界の話ではないことを学びました。その後実際に車いすを使って、介助する側、される側の体験をしました。介助する側になった時には、子どもたちは「相手の気持ちを考えること、相手に寄り添うこと」の大切さを、身をもって感じることができました。

このことは、お茶の学習にも通じることですね。



<5年 田植え体験>

5月12日（金）、すがすがしい晴天のもと、5年生9名が田植え体験をしました。初めての体験でしたが、苗の束から2~3本を取り分けて植えていく作業もすぐスムーズにできるようになり、上手に植えていきました。1時間の体験が終わる頃には、「この田んぼ全部植えたい」という声が聞こえてきました。

石道の種田様、JA北びわこの皆様、今年もご協力いただき、ありがとうございました。

